

「防災の日」を前に、数々の訓練を同時に実施



①旭市医師会・歯科医師会などの救命救急訓練



9月1日の「防災の日」を前に、旭市総合防災訓練が8月31日、飯岡漁港を会場に実施されました。東北地方太平洋沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生、その1時間後に大津波警報が発表されたという想定の下、市民約550人が参加。人命救助訓練や給水訓練、土のうによる水防訓練などのほか、会場から上永井公園への避難訓練も行われました。

またこの日は海岸沿いの地区を対象に津波避難訓練も行われ、津波避難タワーや旧食彩の宿いおか荘屋上などに避難する参加者たちの姿がありました。

第18回旭市中学校生徒英語発表会

市内中学生が英語で発表

市内中学生の英語発表会が9月12日、いいおかユートピアセンターで開催。各校を代表する生徒たちは、関係者や保護者を前に日ごろ学んだ英語力を披露していました。各部門の最優秀賞は次のとおり(敬称略)。

暗唱の部(学年別)／板倉美幸・宮内瑞希(海上中・1年)、石井さくら(二中・2年)、矢ノ浦悠真(一中・3年) スピーチの部(学年不問)／鈴木天音(干潟中・3年)



ジェスチャーを交えて発表する生徒

旭市敬老大会

お年寄りの健康と長寿を祝福



子どもたちが太鼓の演奏で祝福

敬老の日の9月15日、70歳以上の市民を招き、東総文化会館、海上公民館、いいおかユートピアセンターの3会場で旭市敬老大会が開催されました。

この日は、保育所の子どもたちをはじめ、広原暁会、文化協会などが遊戯やお囃子、演芸発表でお年寄りの健康と長寿を祝福。音楽に合わせ、笑顔で手拍子を送る来場者たちの姿がありました。

8
23

アタック！「今日の主役はママ」



「ママさんチーム」の試合

第10回旭市PTAバレーボール大会が、総合体育館で開催されました。この日は、市内小中学校の全20PTAから「ママさんチーム」が出場。4ブロックに分かれて試合を行い、飯岡小PTA、二中PTA、琴田小PTA、飯岡中PTAがそれぞれ優勝を飾りました。

8
30

千葉県警察学校生がごみ拾い



雨の中ごみを拾い集める警察学校生

千葉県警察学校初任科生256人が、飯岡地域の道路や公園などのごみ拾いを行いました。これは、東日本大震災による津波で被災した海岸地域を忘れないためにと行われたもの。また市内の海岸約10kmを歩き、復興状況や津波避難タワーを確認した警察学校生は「この経験を生かし、県民のためになる警察官を目指したい」と話していました。

9
6

サーフィンを通じて観光復興へ



サーファーたちの競演

飯岡海岸で「九十九里観光サーフフェスタ」が開催されました。これは、東日本大震災で被災したサーフショップや観光関連事業者などで構成する団体が、昨年からはじめた復興イベント。日本サーフィン連盟公認大会をはじめ、地元グルメの模擬店などに、多くの人々が訪れていました。

9
7

卓球日本代表を決める大会が旭で開催



代表内定を決めた坪井選手

世界ジュニア卓球選手権中国大会に出場する、男子日本代表の選考大会が、9月5日～7日に総合体育館で開催。代表の座を懸けた16人のリーグ戦を制し、坪井勇磨選手(青森山田高校)が日本代表に内定しました。なお世界ジュニア卓球選手権中国大会は11月30日から開催されます。

第1回旭市国土強^{まろしん}靱化地域計画検討委員会

新たに防災・減災の指針を策定へ



意見が取り交わされる会場

旭市国土強靱化地域計画の策定に向け、検討委員会が発足。初会合が9月11日、市役所本庁で開催されました。検討委員会は有識者や市民などの16人で組織。この日は、市都市計画審議会の小嶋^{たかし}卓会長が委員長に選ばれたほか、意見交換などが行われました。

この計画は大規模自然災害に対して、地域にどのような課題や弱点があるのかを明らかにし、その回避策を定めるもの。市は国が募集したモデル団体に選ばれ、来年4月の計画策定に向け、議論を進めていきます。

第10回旭市児童生徒科学作品展

子どもたちの夏の成果が大集合



飾られた作品を動かす子どもたち

市内小中学生の夏休みに行った工作や論文を集めた作品展が、9月6日に海上公民館で開催。多くの人々が訪れていました。なお特別賞受賞の中から10作品が県展に出品されます。県展出品者は次のとおり(敬称略)。

工作/島津成諒(琴田小・5年)、諸持来望(琴田小・1年)、新居瑠偉(嚶鳴小・4年)、渡辺悠楓(干潟小・3年)、遠藤江里子(二中・2年) 論文/鈴木倫(共和小・4年)、平山洋孝(干潟小・5年)、伊藤環(豊畑小・6年)、平野陽菜(二中・1年)、宮内淳志(飯岡中・2年)